



北陸地域の概要（2021年8月調査）

一般財団法人 北陸経済研究所
地域開発調査部研究員 吉田聡子

景気の現状判断 感染の急拡大による活動の停滞で現状DI値は大幅下落

現状判断指数(DI)は前月から17.9ポイント下落し、34.6と再び悪化の方向である。特に家計動向での下落が顕著で、「新型コロナウイルスの第5波がきて、まん延防止等重点措置対象地域となり、少し盛り上がり始めた行動や活動が一気にしぼんでいる(その他レジャー施設)」、「変異株の発生により全国的に新型コロナウイルスの感染が広がり、各都道府県で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ている。それに伴い、営業時間の短縮や休業、アルコールの販売禁止等が長期間にわたって続いており、景気がいつから上向きになるのか、全く予測できない状況である(一般レストラン)」。「まん延防止等重点措置に加えてウッドショックによる木材高騰で、客の動きが鈍いようである(住宅販売会社)」、「半導体不足の影響でメーカーからの入荷が大幅に減少している状況が続いている。今月は、売上が今期初めて前年を下回る月(乗用車販売店)」と供給サイドからの影響も出ているようである。

景気の先行き判断 ワクチン接種も回復の切り札とはならず、先行きDI値は横ばい

3か月先を占う先行き判断指数(DI)は0.3ポイント下落の47.6となった。「まん延防止等重点措置が解除され、ワクチンの接種者が増えてくれば、少しずつ回復傾向になるとみている(タクシー運転手)」一方で、「ワクチンの接種比率が増えることによりGo Toキャンペーンの再開など期待したが、全く先が読めない状況(観光型旅館)」、「ワクチン接種で経済活動に少し動きが出るかと期待していたが、変異株の登場で予想は大幅に変わってきている。秋の衆議院選挙でまた客が少なくなるとみられ、この状態が当分続くと覚悟している(商店街)」と厳しい声が目立つ。また、コロナ禍で「金を使わないことに客が慣れてきてしまっているように感じるので、今後客の購買意欲が上がるとは考えられない(一般小売店)」、「原材料費の値上げに伴う食品の値上げにより、更に売価を意識した客層がドラッグストア等の低価格販売に流れる(スーパー)」とシビアな消費行動を指摘する声も出ている。

図1 景気の現状指数(DI)の推移[季節調整値]

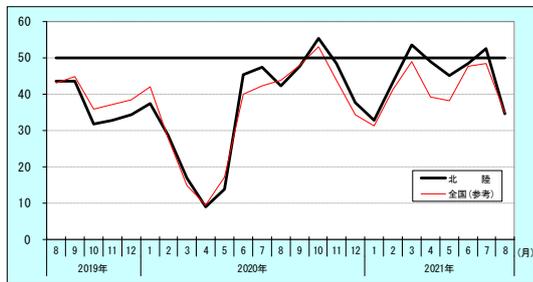
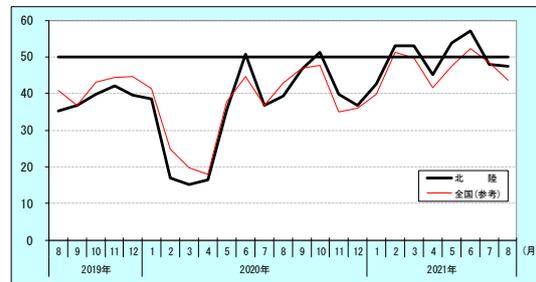


図2 景気の先行き指数(DI)の推移[季節調整値]



●8月のアンケート内容

調査期間：2021年8月25～31日
調査対象：合計100名（うち回答者94名）
(内訳) ・家計動向関連
・企業動向関連
・雇用関連

●景気の判断指数(DI)の算出方法

景気の現状や先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これを各回答区分の構成比(%)に乗じて算出している。(良い=+1、やや良い=+0.75、変わらない=+0.5、やや悪い=+0.25、悪い=0) DIが50の場合には、景気は「横ばい」、50を超えると「改善」、50を下回ると「悪化」を示す。

内閣府「景気ウォッチャー調査」は景気の動きを敏感に観察できる立場の2050人を対象に全国12地域で毎月実施され、北陸地域では当研究所が100名を対象に調査している。本誌の北陸地域の概要は当研究所の責任で取りまとめたものである。なお、調査内容は内閣府のホームページで毎月第6営業日に公表されている。

〈景気の現状に対する判断理由（3カ月前と比較して）〉

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向	◎	住宅販売会社 （営業）	お客様の様子	・商談数の高止まり状態が続いている。
	○	＊	＊	＊
	□	スーパー（総務 担当）	お客様の様子	・感染者数が多いままだが、新型コロナウイルスに慣れてきているようである。
	□	乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・商談件数は引き続き好調に推移している。
	□	自動車備品販売 店（役員）	来客数の動き	・集客面では前年と比較して悪化している状況である。業種的にまん延防止等重点措置が適用されても影響は少ないとみていたが、日中の外出自粛なのか集客は大きく減少している。ただし、冬季用品の早期特売への反応は良く、少しでもお買い得に購入しようとする傾向は例年以上だとみている。
	□	一般レストラン （統括）	それ以外	・変異株の発生により全国的に新型コロナウイルスの感染が広がり、各都道府県で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ている。それに伴い、営業時間の短縮や休業、アルコールの販売禁止等が長期間にわたって続いており、景気がいつから上向きになるのか、全く予測できない状況である。
	□	観光型旅館（ス タッフ）	来客数の動き	・県民宿泊割引の予約が7月16日より販売停止となり、Go To Travelキャンペーンも実施されていないので、厳しい状況が続いている。
	□	通信会社（営業 担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響による来客数の減少はみられない。ただ、財布のひもは固くなっているのか、販売数が低迷している。
	▲	一般小売店〔鮮 魚〕（役員）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置適用中のため、飲食店は昼の営業だけである。観光客も激減し、商売にならない。
	▲	百貨店（販売促 進担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が適用され、来客数が激減の状態である。また、首都圏のデパート地下街におけるクラスター発生の報道などが地方にも影響し、今まで影響を受けにくかった食品にも影響が出てきており、非常に苦戦を強いられている。
	▲	コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況がひどくなり、来客数が減っている。
	▲	乗用車販売店 （経営者）	それ以外	・半導体不足の影響でメーカーからの入荷が大幅に減少している状況が続いている。今月は、売上が今期初めて前年を下回る月となっている。
	▲	高級レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・8月2日から9月12日まではまん延防止等重点措置地域に該当するため、酒類の提供ができず、営業時間が20時までである。夜は客が少ないため、部門によって平日の夜は閉鎖している状況である。
	▲	一般レストラン （店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、お盆以降は一段と悪くなっている。
	▲	住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・ウッドショックのほか、鉄製品の価格も上がり、とうとう住宅価格の引上げをせざるを得ない状況になっている。他社は早々に値上げをしたところが多かったが、当社も約4%のアップを決定している。これからの契約が減ってくるとみている。
	▲	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置に加えてウッドショックによる木材高騰で、客の動きが鈍いようである。
	×	商店街（代表 者）	来客数の動き	・8月2日からまん延防止等重点措置が適用され、前日より更に人通りがなくなっている。お盆休みは大雨で、お盆明け以降も1日の来客数が0～3人である。
×	百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・8月2日にまん延防止等重点措置が適用され、外出を控える動きが加速し、来店客が大幅に減少している。月全体の売上高は、前年比でマイナス13%、前々年比でマイナス23%の見込みで、今年1月以来の低水準で推移している。	
×	スーパー（店舗 管理）	来客数の動き	・前年と比べると来客数の減少分を売上点数で何とか上回っている。現状は固定客によって支えられており、それ以外の客は流動化している。	

(－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月20日から9月12日までまん延防止等重点措置の適用となり、店は休業している。比較はできないが、今月19日までの来客数の動きは開店以来最低で、東京オリンピックやお盆休み、ワクチンの接種などの理由で来店しなかったのではないかと考える。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用と新型コロナウイルスの感染者数の増加で、宿泊者数が更に少なくなっている。宴会もない。レストランも1店舗のみの営業で、5店舗は休業している。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・県内にまん延防止等重点措置が適用され、県内割引のキャンペーンが全て中止になり、キャンセルが相次いでいる。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染がなかなか収まらない。まん延防止等重点措置が継続していることもあり、外出はなるべく避ける傾向である。営業マンの移動もなく、昼夜を問わずタクシー利用は低迷している。
	×	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第5波がきて、まん延防止等重点措置対象地域となり、少し盛り上がり始めた行動や活動が一気にしぼんでいる。スタッフの周囲にも、実際に感染の影響が出ており、複数の自宅待機者やPCR検査が必要なスタッフが出てきている。会員にも休会など、利用を見合わせる人が出てきている。公共施設や行政からの健康づくり事業は全てキャンセルになり、売上が大幅に減少している。
企業 動向 関連	◎	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・2021年の初めからずっと受注金額は増えている。
	○	繊維工業（総括）	受注量や販売量の動き	・国内のファッション衣料は依然として低調であるが、自動車用途やアウトドア関連は受注が回復している。海外のファッション衣料も回復してきている。企業によってばらつきはあるものの、新型コロナウイルス発生前の水準にまで回復した企業もある。ただし、自動車用途は半導体不足の影響が出ており、先行き不透明となっている。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からない状況や自動車減産の影響があり、今一つ回復に力強さが欠ける状態が続いている。
	□	通信業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・5月当初は徐々に上向き景気になると感じていたが、8月は新型コロナウイルスの感染拡大による影響が出始め、思ったより販売量が伸びていない。
	□	金融業（融資担当）	取引先の様子	・倒産や民事再生等が増えてきている。個人破産のケースも出始めている。年明けから経済活動が活発化していたこともあり3か月前からは持ち直してきたが、変異株による感染拡大で緊急事態宣言が延長となり、結局景気は変わっていない。
	▲	税理士（所長）	取引先の様子	・全体としては、新型コロナウイルスの影響で良くなったり悪くなったりである。日本は中国や東南アジアに部品を依存していることから、東南アジア等で新型コロナウイルスの感染が広がっていることもあり、電子機器で利用する半導体以外の細かい部品関係を扱う製造業において、部品の輸入が非常に滞っている。機械製造の受注ができて完成につながらず、最近はその需給関係がマイナス要因として顕著になってきている。住宅関係はウッドショックの影響を厳しく受けており、受注が減少している。
	×	輸送業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が拡大している。
雇用 関連	◎	－	－	－
	○	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・一部の求職者はワクチン接種完了後に期待し、長期に構えて活動している。
	□	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・企業からの求人数が増えない。新型コロナウイルスによる影響が大きい。
	▲	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・様々な業種の企業が、コロナ禍になって以来、最も元気のない感じがする。
	×	－	－	－

〈景気の先行き（2、3カ月後）に対する判断理由〉

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	一般レストラン（統括）	・全く同じではないが、人の動きがある程度年間で決まってお り、人の動きが活発化する時期の後に新型コロナウイルスの感染 が拡大した前年の周期と今年の周期が似ているため、今後下半期 も前年度同様の周期であれば、11～12月は人の流れや動きが活発 化し、景気が上向きになるとみている。
	○	コンビニ（店舗管理）	・現在が最悪だと考えるので、今よりは良くなるしかない。
	○	その他小売〔ショッピング センター〕（統括）	・新型コロナウイルス対策による効果で新規感染者数が減少し、 人々の行動範囲が拡大してきたら消費意欲も回復してくると考え ているが、直近の2～3か月での早期回復は期待できないと捉え ている。早くて年末か年明け頃から対策の効果が出てきて、順調 に事態が収束したとしても、本格的に回復してくるのは来春頃に なるのではないかとみている。
	○	高級レストラン（スタッ フ）	・10～11月は県外から20名以上の予約があり、前年と比べ2倍以 上受注しているが、新型コロナウイルスの感染状況次第で延期や キャンセルがあるとみている。
	○	都市型ホテル（役員）	・ワクチン接種が進み、新規感染者数が減少することにより、宿 泊予約は減少から増加に転じるとみている。
	○	タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除され、ワクチンの接種者が増えて くれば、少しずつ回復傾向になるとみている。
	○	通信会社（営業担当）	・毎年恒例の新機種発表の時期であり、その販売が見込める。
	□	一般小売店〔精肉〕（店 長）	・報道等の影響により来客数が多少減ってきているように感じ る。一方で、お盆等で来られない遠方の家族へのギフト系商材が 増えてきている。それで少しカバーできており、この状況がしば らく続くのではないかとみている。
	□	百貨店（売場主任）	・ワクチンの3回目接種が現実的となり、状況の改善は見込めな い。しばらくは外出を控える動きが続くため、厳しい状況が続く と見込んでいる。
	□	コンビニ（営業）	・ワクチンの接種状況やワクチン接種者が感染した場合の症状な ど、安心できる情報がマスコミから提供されれば、状況が少し緩 和すると考える。
	□	コンビニ（営業）	・新型コロナウイルスの影響により、消費動向の回復に見通しが 立たない。
	□	家電量販店（店長）	・目新しい商品などもなく、平年並みに落ち着きそうである。
	□	その他専門店〔酒〕（経 営者）	・とにかく時短営業などが終われば少し取り戻せると考えるが、 一旦下がったものが伸びてくることは最近なかなかないので、余 り期待できない。
	□	スナック（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染や国内外の情勢の影響があ り、希望のある先行きが見えない。
	□	観光型旅館（経営者）	・ワクチンの接種比率が増えることによりGo Toキャンペーンの再開など期待したが、全く先が読めない状況である。
	□	通信会社（職員）	・新型コロナウイルス禍で客のところへの訪問を控えざるを得な いことによる影響は少なからずある。
	□	通信会社（役員）	・新型コロナウイルス禍では消費者マインドが良い方向に大きく 振れるとは考えにくく、今月と変わらず、放送、通信の契約者数 は前年同期と同レベルで推移するものと考える。
	□	住宅販売会社（従業員）	・今までより金額が上がれば契約が難しくなるのは仕方がない が、他社との差別化を明確にして客の囲い込みを行うことと、よ り付加価値のある商品開発が大切になると考える。
	▲	一般小売店〔書籍〕（従 業員）	・新型コロナウイルスの感染収束にめどが立つまで、悪い状態は 続くだろう。
	▲	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しても、すぐに活動 的にはならず、マイナス基調は継続するとみている。食品を中心 に巣籠り需要対策や、お取り寄せなどの企画をしてもパイが小さ く、マイナスをカバーできないのが現状である。
▲	スーパー（店舗管理）	・原材料費の値上げに伴う食品の値上げにより、更に売価を意識 した客層がドラッグストア等の低価格販売に流れるとみている。	
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染はすぐには収まらない。	
▲	衣料品専門店（経営者）	・出口がみえない事象について、先行きの不安と恐怖感は増加す ると考える。	

(－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	▲	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足の影響が大きくなってきている。
	▲	乗用車販売店（役員）	・半導体や自動車部品の供給遅れによる生産ラインの停止日数が徐々に増えており、経済活動全般で停滞する傾向がみられる。消費活動においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大により厳しい状況が長く続いており、収束の見通しが立たないことでますます下降していくと考える。
	▲	一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの感染が広まり、終息の気配がない。手の打ちようがない。
	▲	競輪場（職員）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置によって、場外車券売場が発売中止となっていることから、感染状況が改善しなければ売上増加は見込めない。
	▲	その他レジャー施設 [スポーツクラブ]（総支配人）	・現役世代へのワクチン接種も何とか開始されたが、感染拡大の勢いがあるので世間に安心感はなく出てこない。できるだけ早く全世代へのワクチン接種が始まり、安心感が広がることを願っている。
	×	商店街（代表者）	・ワクチン接種で経済活動に少し動きが出るかと期待していたが、変異株の登場で予想は大幅に変わってきている。秋の衆議院選挙でまた客が少なくなるとみられ、この状態が当分続くと感じている。
	×	商店街（代表者）	・市内は感染者数が高止まりで、全国的には感染者数が増加傾向である。ネット通販も今は横ばいで、特に高額の商品は全く動いていない。
	×	一般小売店 [事務用品]（店長）	・金を使わないことに客が慣れてきてしまっているように感じるため、今後客の購買意欲が上がるとは考えられない。
×	都市型ホテル（スタッフ）	・変異株による感染者の急増で先が見えない。	
企業動向	◎	一般機械器具製造業（総務担当）	・2022年前半まで当社製品に対してバックオーダーを抱えており、今後も受注が見込めそうである。
	○	繊維工業（総括）	・全体としては回復基調であるが、自動車用途が半導体不足の影響により先行き不透明になっていることと、世界的な変異株による新型コロナウイルスの感染拡大の影響を懸念している。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	・全国にわたる新型コロナウイルスの感染拡大が今後当面継続する影響で、なかなか本格的な回復には至らないとみている。
	□	建設業（役員）	・資材価格の動向が引き続き懸念される状況で、先行きは判断しにくい。
	□	輸送業（管理会計担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、収束の見通しが立っていないことから景気の先行きに不透明感がある。
	□	不動産業（経営者）	・現在は法人客からの引き合いや問合せが少ない。個人客からの問合せも今は少ない状況が続いている。
	▲	食料品製造業（経営企画）	・当面の受注や販売面に関しては楽観視している一方、原材料や燃料など複数のコストアップ要因に直面しており、採算性の悪化を見込んでいる。
	×	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加、まん延防止等重点措置対象地域の拡大で経済への悪材料がそろっている。北陸3県でも感染者数が増えており、県内でも感染状況の悪化で飲食、小売、観光業は関連業種含めて大打撃である。回復するのに相当時間が掛かる。
雇用	◎	－	－
	○	人材派遣会社（社員）	・上期から下期への期変わり時期であるとともに、新型コロナウイルス対策のワクチン接種の割合が増加することで安全が担保され、いよいよ本格的に経済が回り出し、求人求職共に少し良くなると考える。
	□	人材派遣会社（役員）	・求人数が少ない。求職者の派遣登録も増えない。
	□	新聞社 [求人広告]（営業）	・新型コロナウイルスの終息がイメージできないと、企業の意気が上がらないと考える。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスによる感染拡大のなか、予防関連商品や医薬品などの一部を除いて、まだ活発な経済環境には程遠い感じがする。
	▲	－	－
×	－	－	